

## CubeSuite+ RXファミリ用デバイス依存情報ファイル V1.01.00 ご使用上のお願い

CubeSuite+ のRXファミリ用デバイス依存情報ファイルである、CubeSuite+ DevInfo\_RX V1.01.00 の使用上の注意事項を連絡します。

- RX64MグループのIORパネル表示の注意事項
- RX64Mグループ用IOヘッダファイルの注意事項

### 1. RX64MグループのIORパネル表示の注意事項

#### 1.1 該当製品

CubeSuite+ DevInfo\_RX V1.01.00

バージョンの確認方法は、以下のURLからご参照ください。

[https://www.renesas.com/cs+\\_ver](https://www.renesas.com/cs+_ver)

#### 1.2 内容

E1またはE20エミュレータおよびRXシミュレータのIORパネルで表示するレジスタにおいて以下の注意事項があります。

(1) 以下のレジスタが表示されません。

ICU.IRQCR0

(2) 以下のレジスタは正しい値を表示しません。

ICU.IRQCR1

ICU.IRQCR2

ICU.IRQCR3

ICU.IRQCR4

ICU.IRQCR5

ICU.IRQCR6

ICU.IRQCR7

ICU.IRQCR8

ICU.IRQCR9

ICU.IRQCR10  
ICU.IRQCR11  
ICU.IRQCR12  
ICU.IRQCR13  
ICU.IRQCR14  
ICU.IRQCR15  
ICU.IRQFLTE0

### 1.3 回避策

該当レジスタを表示する場合はウォッチパネルから行ってください。

表示方法を以下に記載します。

(1) ウォッチパネル用インポートファイル watch.csv を入手してください。

watch.csv は、以下のURLからwatch.zip (310 byte)をダウンロードして解凍してください。

すでに恒久対策済みのためファイルは削除しました。(2016.5.31)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/140416/watch.zip>

(2) CubeSuite+からウォッチパネルを開いて、ウォッチパネル内で  
右クリックしてコンテキストメニューを開き、「ウォッチ式をインポート」  
を選択し、(1) で作成したcsvファイルを登録してください。

(3) ウォッチパネルにレジスタが登録されます。

レジスタ名はウォッチパネル一番右側のメモ欄に表示されます。

### 1.4 恒久対策

RXデバイス依存情報の次期バージョンで改修する予定です。

## 2. RX64Mグループ用IOヘッダファイルの注意事項

### 2.1 該当製品

CubeSuite+ DevInfo\_RX V1.01.00

バージョンの確認方法は、以下のURLからご参照ください。

[https://www.renesas.com/cs+\\_ver](https://www.renesas.com/cs+_ver)

### 2.2 内容

CubeSuite+でRX64Mグループ用のプロジェクトを生成する際に、コピーされるRX64Mグループ用IOヘッダファイル iodef.h に以下の誤記があります。本ニュース内では、問題のあるヘッダファイルを「iodefine.h V0.8A版」と表記します。

(1) EPTPC0およびEPTPC1モジュールのSYIPADDRRレジスタ以降の番地が正しく配置されていません。

(2) FLASHモジュールのFWEPRORレジスタ以降の番地が正しく配置されていません。

### 2.3 回避策

以下の手順で、問題を改修したヘッダファイルに差し替えてください。

本ニュース内では、問題を改修したヘッダファイルを「iodefine.h V0.8C版」と表記します。

(1) iodefine.h V0.8C版 を入手してください。

iodefine.h V0.8C版 は、以下のURLからrx64m\_iodefine\_v080c.zip (31.8 KB)をダウンロードして解凍してください。

すでに恒久対策済みのためファイルは削除しました。(2016.5.31)

[http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/140416/rx64m\\_iodefine\\_v080c.zip](http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/140416/rx64m_iodefine_v080c.zip)

(2) 作成したプロジェクトファイル内の iodefine.h V0.8A版を、iodefine.h V0.8C版 に差し替えてください。

## 2.4 恒久対策

RXデバイス依存情報の次期バージョンで改修する予定です。

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。